

## ペットボトルで季節の花をアレンジ

～家にある物を使って季節のアレンジ【ペットボトル（縦バージョン）】～

作成者：株式会社フローレ21 高杉揚子

- 対象者・人数：小学生 15～20名（参加人数によって所要時間とスタッフの人数が変わってきます）
- 所要時間：1時間～1時間30分（年齢によって異なります）
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名、スタッフ1～2名
- 実施場所：児童センター、小学校、イベント

- 資材：
  - ・ペットボトル500ml
  - ・カッター
  - ・工作用ハサミ
  - ・切花用のハサミ
  - ・カラービニールテープ
  - ・ひも又はリボン



切花用ハサミ



ビニールテープ



リボン

- 花材：
    - ・季節の花を選ぶことにより春夏秋冬オールシーズン対応できる
    - ・一人、5～6本ぐらい選べる本数・種類を用意する
    - ・事前に水揚げをして、花を元気な状態にする
- ※季節の花  
 春＝チューリップ、スイトピー、マーガレット、ガーベラ 等  
 夏＝ひまわり、アワ、クルクマ 等  
 秋＝ケイトウ、リンドウ、ワレモコウ、オミナエシ 等  
 冬＝ヒバ、サンキライ、松かさ 等



ガーベラ



マーガレット



スプレーカーネーション



スプレーバラ



### 【指導内容と目的】

- ・フラワーアレンジを教えるのではなく、花を通して子どもたちに、植物との関わり、季節の花、命の大切さ等を伝える。
- ・サンプルは用意せず、花を自由に選び、自由にアレンジを行う。この事で、個性豊かな作品に仕上がりと達成感が育まれる。
- ・花に触れる楽しさ・喜び・本物の感動を伝え、花好きの子どもを増やす。

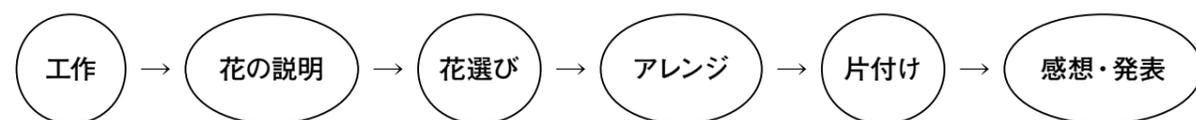
### 【対象者への配慮】

- ・ペットボトルを花器にする。花器を作る時に、カッター・ハサミを使用するので、幼児・小学生の低学年には、大人の補助が必要となる。（炭酸飲料のペットボトルはとても硬いので、使用は避けたほうが良いです）事前にお家の方に手伝ってもらったペットボトルを持参してもらうと、当日、進めやすい。
- ・花を切る時はなるべく切花用のハサミを使用する。工作用のハサミだと、切りにくく、茎がつぶれてしまう事がある。切花用のハサミを使う前に、必ず、ハサミの扱い方、花の切り方について説明すること。
- ・花の紹介・説明をする際、子ども達が分かりやすい言葉を選び、興味を持ってくれるような話し方や説明（特徴、名前の由来、産地、花びらの形等）が良い。また、花の特徴を知ってもらうため、必ず紹介した花を全員に渡して、花の香り・感触を確かめてもらう。

## 1. 当日の流れ

時間(所要時間) 1時間～1時間30分(年齢によって異なる)

手順



※事前に、ペットボトルに花を入れやすいように切っておくと良い。

指導ポイント

- ・家にある物を使用して、簡単に季節の花をアレンジ。
- ・花器がなくても、家にある物を工夫すれば、オリジナルの花器ができる。
- ・自分達で作ったオリジナルの花器に、好きな花を活けることで、花を飾る楽しさ、花の生命を感じてほしい(水の色がひと目でわかるので、水換えをこまめにし、長く楽しむ方法を知ることができる)。

## 2. 時間配分

### ① 花器工作 20分

ペットボトルをカッターで切り、切り口にカラーテープを貼る

### ② 花の種類についての説明 10分

子供たちに香り・感触を楽しんでもうら為、花を全員に回す

### ③ 花選び 10分

### ④ アレンジ開始 10分～15分

### ⑤ 片付け 5分

### ⑥ 「花レシピ」に選んだ花の名前を記入 5分

### ⑦ アレンジ発表・感想 5分

## 3. フレームワーク

### ① 準備

- ・バケツに水を入れて、花材を並べる。
- ・花の名前カードを用意
- ※幼児・小学生低学年の場合、バケツに貼り付ける花の名前はひらがなで書く。
- ・カラーテープ・ひも又はリボンを用意
- ・カッター・工作用ハサミを用意
- ・切花用ハサミの用意



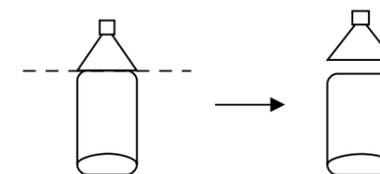
### ② 挨拶

今日のアレンジの内容やテーマ等の説明。



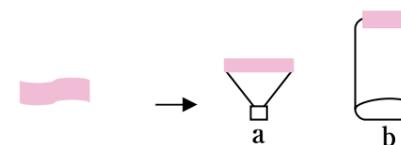
### ③ ペットボトルで花器を作る

四角い500mlのペットボトルに、花をアレンジできるように、上部を切る。



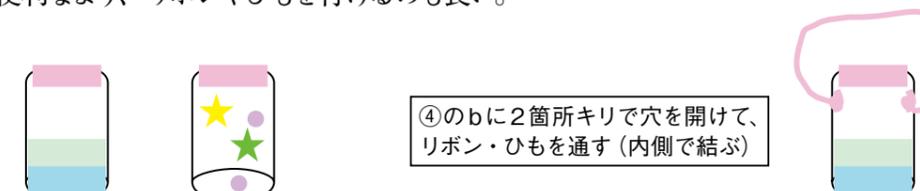
### ④ テープを貼る

切り口で手を切らないよう、又は、切り口を重ねる為、滑らないようにセロテープやカラーテープを貼る(aは逆さにして使用します)。



### ⑤ オリジナルの花瓶を作成する

④のa、bの切り口にセロテープ又はカラーテープを貼った後、時間があれば、カラーテープやシール等をペットボトルの花瓶に貼って、オリジナルの花瓶を作成すると楽しい。また、ぶら下げたり、持ち帰る時に便利なよう、リボンやひもを付けるのも良い。



⑥ 花の名前・特徴を紹介（産地・名前の由来・花びらの形等）

花の名前は事前にバケツに貼り付けるのではなく、「この花の名前を知っている人！」等と、子ども達に質問して答えてもらう。その後、花の名前・特徴について話しながら、バケツに名前を貼り付ける。必ず、紹介した花を全員に渡して、花の香り・感触を必ず確かめてもらう。



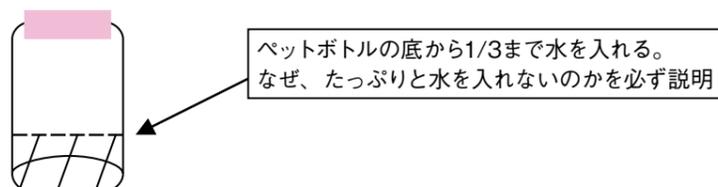
⑦ 花を選ぶ

選ぶ本数を決めて、子ども達に好きな花を選んでもらう。その際、花の取扱について説明する。（どんな事したら花は折れてしまうか。花の性質、さらに花の気持ちを考えてもらう）



⑧ 花器に水を入れる

全員花を選んだら、ペットボトルの花器に水を入れる。その際、水の量について説明する。



⑨ 花の切り方を説明

- ・普段使用している工作用のハサミより、「良く切れる!」という事を説明
- ・右利きと左利きにと分けて説明。
- ・花の置き方・向きを説明（右利きの場合、花の顔（咲いている方）を左向き横にして置くと、持ちやすく切りやすい。左利きの場合、右利きと逆に置く）。
- ・子ども達と同じ向きになり、花（茎）を持って、どうやってハサミで切るかを見せる。

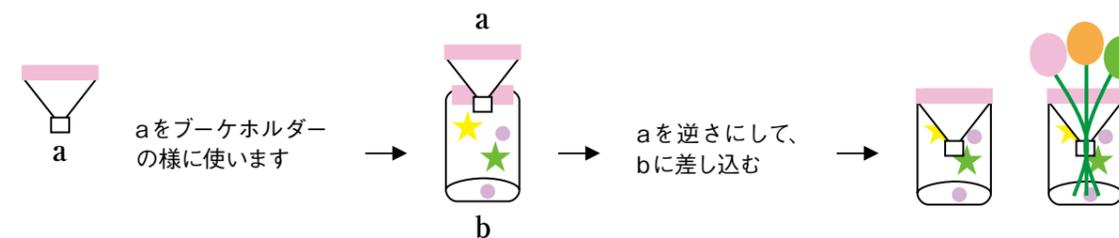
⑩ 花の挿し方・アレンジの仕方を説明

- ・花器に対しての長さを教える（どの位の長さできるか）。
- ・水に浸かる部分の葉は取る（なぜとるかを説明）。



⑪ アレンジ開始

その前に、花器をセットする。



⑨～⑪の事に気をつけながら、自由にアレンジを楽しんでもらいます。なるべく、アレンジに対して、注意や意見をすることはやめましょう。注意することは、⑨～⑪のみ。これ以上注意してしまうと、子ども達のやる気をなくしてしまいます。温かく見守りましょう。



⑫ 片付け

アレンジが終わった子ども達から、机の上、床のゴミを片付けます。ゴミ袋に捨てる時は、茎をなるべく短くして捨てることを教えましょう（なぜならば、ゴミ袋から茎が飛び出て、ケガをしたりするからです）。茎を短くする際、ハサミで切る場合は注意が必要です。また、ハサミを持って、ゴミ箱まで来る子がいますので、ハサミを持ち歩かないよう注意しましょう!

⑬ 「花レシピ」を記入

自分で選んだ花の名前を記入してもらいます。花の名前を覚えてもらう為、また、お家に帰って、家族と花の名前等について話せるように。



⑭ 発表・感想

アレンジの発表、感想を聞いてみる。「今日、好きになった花は?」「どんなイメージで作ったの」「どこに飾る?」等、感想も聞いてみる。



⑮ 終わりの挨拶

- ・花が咲く楽しみ、水を換える方法等を説明。幼児・小学生低学年には「今日からこの花達のお母さんとお父さんになります。きれいに長くお花を楽しむ為に、お世話をしてあげてください。」と話す。
- ・皆で拍手をして終了

参考：花レシピカード (A6サイズ)

